



## 堤隆

Takashi Tsutsumi

明治大学東洋学研究所センター所長、62年長野県生まれ。国際大学大学院博士後期課程修了、博士(歴史学)。専門は旧石器考古学、主な受賞歴に読売賞一賞(92年)、岩谷文化賞(07年)、第1回日本旧石器協会賞(14年)がある。八ヶ岳旧石器研究グループ代表。浅間縄文ミュージアム館長、東京大学非常勤講師などを歴任。



「焼町土器」  
(国重要文化財)



「顔面装飾付鈎手土器」  
(長野県宝)  
愛称 あくびちゃん

所蔵 浅間縄文ミュージアム  
写真提供 ©小川忠博

狩猟や漁労が営まれ、本格的な定住生活が始まった縄文時代。お金も会社も保険もない時代だけれど、彼らは高度な技術を駆使し、豊かなコミュニティーや物流ネットワークを構築していました。戦争をせず平等主義、自然と共生した縄文人には、私たち現代人が目指すべきSDGs社会やビジネスのヒントがたくさんありそうです。縄文人の社会や暮らしを究明する考古学研究者の堤さんに、考古学から見える新しい社会への変革について語っていただきます。

### 気候変動や人口減少を経験した縄文時代。現代の私たちと同じく、厳しい存続危機を乗り越えていくために彼らが選択したものとは…

もしタイムマシンが技術開発されたと仮定し、5000年前の縄文人を現代社会に招待したとしよう。人々は進んだ文明社会にまったくついていけず、不適応を起こしてしまうのだろうか？

答えは、ノーだ。

縄文人は、握った石斧をスマホに持ち替え、スケジュール管理アプリに新しく出来た恋人との約束を入れているに違いない。なぜなら縄文人は私たちとまったく能力的に変わらない種“ホモ・サピエンス”であり、スケジュール管理や将来予測は、他の生物種には一切備わっていないその特異能力だからだ。

ホモとはラテン語で“人間”、サピエンスは“智慧がある”という意がある。サピエンスの語は、ユヴァル・ノア・ハラリの世界的ベストセラー『サピエンス全史』でいっきにメジャー化した感がある。

縄文時代末期、今から2500年前、地球規模の寒冷化に起因し、激しい人口減少が起きた。5000年前には26万人いた列島人口が、いっきに8万人まで落ち込んだという試算がある。ヒューマンレベルでは歯止めのきかない気候変動に、人々はどう立ち向かったのか。

そこでとられた社会システムのチェンジが、狩りと植物採集という食料獲得型の生業システムから、水稲耕作という食料生産システムへのシフトであった。すなわち“獲る”という狩猟採集から、“作る”という農耕へのチェンジだ。

一般には、土着の縄文人を半島から米を持って来た渡来人が駆逐して、現在にいたる農耕社会が形成されたとのイメージがあるらしいが、そこに集団の劇的な交替はなく、縄文人が、渡来系の人々を受入れたというのが実相らしい。

事実、最新のゲノム解析では、私たち現代日本人の身体に縄文系のDNAと弥生以降のDNAの双方が共存していることが判明している。

21世紀の今日、サピエンスは絶滅にかかわるような危機に瀕している。もし私たちに智慧が残されているならば、縄文時代終末と同様、大規模な気候変動や人口減少を乗り越える力があるに違いない。いや、そう信じて。

この人に聞きたい!  
「縄文と現代」

厳しい存続危機を乗り越えなければならないのは、今も昔も変わりません。システムチェンジのより所となるものがデータだとするならば、データが蓄積されていく程に将来の予測や仮説の立案も精度を高めることが可能になるのではないのでしょうか。



スマホで簡単アクセス!

裏面もぜひご覧ください!



## 今月のオススメ補助金

## 事業継続力強化計画作成のすすめ!

みなさんは、事業継続力強化計画をご存知でしょうか? 事業継続力強化計画は、防災・減災の事前対策に関する計画です。中小企業・小規模事業者が事業継続力強化計画を策定し、経済産業大臣に認定されると、税制措置や金融支援、補助金の加点措置などの支援が受けられます。

また夏になると台風や水害などの自然災害が増えてくる恐れがあります。

企業にとって、BCP(事業継続計画)を作成することの重要性が叫ばれていますが、中小企業・小規模事業者にとっては、BCP作成はハードルが高いと思われるかもしれません。そこで、中小企業・小規模事業者の皆様は、まずは、事業継続力強化計画を作成されることをおすすめいたします。また、事業継続力強化計画の認定を受けると、ものづくり補助金の審査で加点を受けられますので、7月28日公募締切の15次ものづくり補助金への申請をご検討の事業者様は、忘れずに認定を受けていただければと思います。

担当: 江川香子(中小企業診断士)

BCP  
Business Continuity Plan

悩める経営者の右腕に

## 制作の右腕

## クリエイティブの現場から

Webサイトを制作する際には、アクセス解析ができるようタグを入れるようにしています。Webサイトは制作が完了し公開されて終わりではなく、そこから記事(ブログ)を追加したり、お知らせを掲載したり、様々なコンテンツを追加し情報発信することで育てていくことが大事です。SEO(検索エンジン最適化)対策のためにも記事追加は必要です。それも闇雲に追加するのではなくアクセス解析をしたうえで効果的なコンテンツ追加が重要です。

担当: 大和 功(Webディレクター)

## 社長の野望

2023年5月、社会保険労務士法人を弊社の士業グループ法人として設立いたしました。これまで中小企業診断士という資格を活かし中小企業の皆様へ経営コンサルティングサービスを提供してきましたが、これだけではニーズに答えきれていないことにジレンマを感じていました。そのニーズに応えるためには、資格がなければ提供できないものが多数あります。そこで経営コンサルティング会社を中心に士業法人を作り、必要とされるものは全て提供できるようにすることを目指ようになりました。今回、社労士法人を作ったことで企業を支える人に関するサービスはすべて提供できるようになりました。ぜひご活用ください。

今月のお気に入り格言

ビジネスにおいて、最も重要なことは、顧客に価値を提供すること。  
トニー・スターバーク

## サービス紹介

悩める経営者の右腕に

## 人事労務の右腕

スマホで  
簡単  
アクセス!

『人事労務の右腕』は、すべての企業が抱えるヒトに関する課題に対し、トータルで支援するサービスです。

「採用が思うようにいかない…」 「人が育っていない…」 「組織に活気がない…」 「社員が定着しない…」  
こんなお悩みを抱えてはいらっしゃいませんか?

当社なら経営戦略との一元的な人事戦略立案が可能です。採用・評価・定着など様々な切り口から取り組み、組織の力を最大化するための支援を行います。ぜひともご相談ください。

担当: 濱田 純(中小企業診断士)

## 編集後記

堤先生のお話を読んで、学生時代に歴史学を学ぼうとしていた自分を思い出しました。過去に確かに存在していたものから歴史の変遷を辿り、現代を生きるヒントを得ていく過程が当時は面白いと思ったのでしょうか。世の中が目まぐるしく変化する現代にあって、過去に「変わってきた」という体験から学べる事は多いと思います。それを知恵と置き換えるなら、生き残るために取る次の一手も自ずと見えてくるように思います。

担当: 佐藤泰充

## 株式会社コムラッドファームジャパン

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-13 CONVEX神保町2階  
TEL 03-6261-5351 FAX 03-6261-5352 comrade-firm.co.jp

